指導事例集ｐ．９９

児童に見られるつまずき

　比較量、基準量、割合の関係を理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　２数直線図を用いて、問題場面の比べる量ともとにする量を整理することで、比較量、基準量、割合の関係について理解を深めさせる

１　学年・単元名　　第５学年　割合（数量関係領域）

２　単元目標

　　２数直線を使いながら問題場面を整理し、比べる量ともとにする量の関係を理解することができる。

３　単元の内容

　・割合の意味　　　　　・比べる量を求めること　　　　・もとにする量を求めること

**・百分率、歩合の意味**　・割合のグラフ

４　本時の目標

　　２数直線図を用い、割合を表す小数と％の関係を理解させる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入  展開  玉ねぎ畑10  学校の畑40  （㎡）  ０  ０　　0.25　　　　　　 １　　 （倍）  ０　　 □　　　　　　 １００　　 （％）  まとめ | １　問題文を読み、題意をとらえる。  玉ねぎ畑10  学校の畑40  （㎡）  ０  ０　　　 0.25　　　　 　　　 １　　 （倍）  □　　　　　　　　　　　　 　100　 　（％）  玉ねぎ畑10  学校の畑40  （㎡）  ０  ０　　　 0.25　　　　 　　　 １　　 （倍）  □　　　　　　　　　　　　 　100　 　（％）  玉ねぎ畑の面積１０㎡は、学校の畑の面積４０㎡の何％ですか。  ２　２数直線図を使いながら問題場面を整理する。  玉ねぎ畑10  学校の畑40  （㎡）  ０  ０　 　□　　　　　　 １　　 （倍）  参考：ノート  ３　割合を表す小数と％を２数直線図上に表し、自力解決を試みる。  ３　それぞれの考えをペアの人と話し合う。  ４　全体で発表し合う。  参考：授業の様子 | **・問題文を読み、２数直線図上に㎡と倍の関係をかかせることによって、相互関係を理解させる。**  ・「答えが１よりも小さくなる」という見通しを持たせる。  ・もとにする量（１倍）が１００％であることをもとに、倍を％に直すには１００倍すればよいことに気付かせる。  **・２数直線図で㎡と倍の相互関係を確認させながら、０．２５×１００で小数点が右に２つ移動し、２５％となることを確認する。**  ・割合の数直線に「倍」と「％」を並べて表記することで、  もとにする量＝１倍＝１００％  を基本にして、小数と百分率の関係を理解させる。  〇説明がうまくできなくても、情報交換ができればよい。  〇拡大書画カメラを使って発表させる。 |